

早稲田大学大学院法務研究科 アセスメントポリシー

NO	測定時期	学修成果	測定方法①：直接評価	測定方法②：間接評価
1	・直接評価：修了時 ・間接評価：1年～3年次	進取の精神を持って、伝統の殻を破る新しい概念を構築する力	リサーチ・ペーパー及び論文の作成数と評点	学生アンケート
2	・1年～3年次	自主独立の精神を持って自他の個性を認め、公正な視点で多様性を受容する姿勢	科目担当者に対するアンケート	学生アンケート
3	・直接評価：1年～3年次 ・間接評価：3年次	法律学の専門知識、批判的・創造的な思考力、社会に生起する事象の調査能力、および法的問題の分析能力を駆使し、問題を解決する能力	エクスターンシップ、クリニックの評価/コメント	法律科目の成績・G P A
4	・直接評価：修了後 ・間接評価：2年～3年次	新たな時代を切り拓いて正義を体現する法の担い手として、複雑で多様化した現代社会における様々な課題に敢然と挑戦し、人と社会と世界に貢献できる能力	＜法の担い手となること・人と社会と世界への貢献＞ →司法試験合格者数、弁護士/裁判官/検察官となった人数	クリニック報告書、エクスターンシップ報告書、及び交換留学・トランスナショナルプログラム参加人数
5	・3年次	人の『喜び』『苦しみ』『痛み』を理解できる豊かな人間性とこれに基づく行動力	エクスターンシップ、クリニックの評価/コメント	クリニック報告書、エクスターンシップ報告書、および「稲門法曹会奨励賞」の応募・受賞状況
6	・1年～3年次	自らが考える意見を正確に表現し、他者を説得する能力、および他者の意見に真摯に向き合い、その主張するところを的確に汲み取るコミュニケーション能力	ソクラティック・メソッド（双方向の質疑応答）を用いた講義科目・演習科目等のG P Aから総合的に測定	学生アンケート